

9.30 [金曜日]

親と子がともに学ぶ『家庭教育講座』を開催！

小中学校の参観日にあわせて、小学5年生～中学3年生と小中学校の保護者を対象に、家庭教育講座を開催しました。元高校教諭・主夫の宮本延春さんを講師にお招きし、「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」をテーマにご講演いただきました。

その一部をご紹介します。

- 毎日最低5回は「ありがとう」という言葉を使おう。
ありがとうは人を傷つけない、言われてうれしい言葉。
- まわりからたくさん「まる」をもらった人は自分自身に「まる」をあげられるようになる。
大人のみなさんへ：「まる」は出そうと思わないとなかなか出ない。思ったらすぐに口に出すこと。事実は1つ、見方は2つ。テストで正解が10分の1でも「『まる』が1つあったね！」というほめ方ができる。
- 自尊心が満たされるときは無条件の愛を与えられたとき。

講演会のあとで、子どもたちは、深い内容の感想文を書いていました。

宮本さんのたぐいまれな経験とメッセージは子どもや保護者にしっかりと届いたことと思います。



10.2 [日曜日]

第1回佐那河内村学術講演会 「佐那河内村の祭りと民俗芸能」を開催



▲報告HP

村役場村民ホールにて、徳島大学総合科学部の高橋晋一学部長を講師にお招きし、「佐那河内村の祭りと民俗芸能」についてご講演いただきました。

村内外からご来場いただいた44人のみなさまに、大宮八幡神社・朝宮神社・嵯峨天一神社の三社の秋祭りなど、特色ある民俗をご紹介します。たとえば、村ではあたり前である、お囃子に笛が入るといった習俗は県下でもあまり見られないそうです。

この学術講演会は「阿波学会」の後援をいただき、今年度から開催しています。映像や写真などを交え、わかりやすく講演していただきます。

みなさまのご参加をお待ちしています。

▶阿波学会 平井 松午(しゅうご) 会長



▶高橋 晋一 学部長

